

各会議等の実施状況報告について	提出日	令和5年3月14日(火)
	担当課	スポーツ・生涯学習課
<p>会議名称 湖西市青少年育成センター運営協議会</p> <p>開催日時 令和5年2月27日(月) 13:55~14:45</p> <p>開催場所 市民活動センター 2階 大会議室</p> <p>出席者 委員9名、事務局4名 【計13名】 ※傍聴者なし</p>		
<p><b>1 開会</b> 新任委員へ委嘱状伝達</p> <p><b>2 あいさつ</b> 会長(教育長)</p> <p><b>3 協議事項</b> (1)副会長の選出</p> <p>(2)令和4年度湖西市青少年育成センターの活動報告について 事務局説明 〔質問〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤングダイヤルで、通話前に切れてしまう電話には折り返しをしているのか。 ⇒ すべて匿名での相談で、発信番号も通知されないため、折り返しはしていない。 会話ができた人からも、氏名や電話番号は聞いていない。</li> <li>・相談内容は解決が必要な問題か。 ⇒ ほとんどの場合は、思いを話される過程でご自身の中で考えが整理される。 必要な場合は、各機関を紹介している。</li> </ul> <p>(3)令和5年度湖西市青少年育成センターの活動計画について 事務局説明 〔質問・意見なし〕</p> <p><b>4 市内の現状報告</b> (1)湖西警察署</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の軽犯罪は県内では減少だが、湖西署管内では49件(23%)増。少年補導は65件で年々減少。深夜徘徊、喫煙が多い</li> <li>・昨年は特殊詐欺が管内で4件発生。今年に入り、携帯電話に番号通知で入電があるという新たな形態での詐欺被害も発生。</li> <li>・2月1日から「どこでもポリス」というアプリがリリース。選択したエリアの不審者情報等がすぐに見られる他、防犯ブザー機能を使用すると親のスマホに位置情報が届く設定も可能なので活用を。</li> </ul> <p>(2)小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的には落ち着いた状況。</li> <li>・コロナの影響で学級閉鎖や、職員の助勤対応が求められたが、学校行事はコロナ前に戻りつつある。</li> <li>・特別支援教育について課題が多い。人数も増加し、十分な支援をには教職員の数が足りない。</li> <li>・コロナ禍で特に高学年の体力低下が顕著。運動する機会の有無で2極化が大きい。</li> <li>・登下校を含めた地域での過ごし方が課題。感染症以外の安心・安全にも気を配る必要があり、交通教室や防犯教室を再開。</li> <li>・GIGA スクール構想本格化でタブレット端末の使用頻度増加。ネット利用の指導にも力を入れている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(次頁につづく)</p>		

### (3) 中学校

- ・市内の不登校生徒は全体の約6%。令和3年度から4年度で各学年10名程度増加。
- ・不登校の要因は、学力不振により将来に夢や希望を持たず、情緒不安定や無気力になるケースが多いが、要因がはっきりしないケースも多い。
- ・普通学級に在籍していても特別な支援を必要とする生徒もいて、支援体制は不十分。
- ・空き教室がなく別室登校の対応ができない、チャレンジ教室まで距離が遠く自力では行けない等、対応策を考えているものの課題が多い。

### (4) 高等学校

- ・生徒数が減少しているが、多様化。家庭の事情にも配慮が求められ、児童相談所や医療との連携も必要になっている。
- ・令和4年度はコロナの濃厚接触者増加等により、インターンシップが実施できず。
- ・SNSやスマホ関連の指導増加。現実と仮想空間の区別ができずトラブルに発展することもある。
- ・人間関係の構築が難しく、不登校になる生徒も一定数いる。

## 5 意見交換

- ・ニュースになっている回転寿司のトラブルのように、ノリで問題行動をスマホでネットにあげ加害者になるケースが増加。対策が必要。
- ・中学校、高校では情報モラルの指導やスマホ講座を実施しているが、生徒たちが「自分ごと」とすることが難しく、危機感を持っていないため、実際の場面で適切な判断ができるか疑問。
- ・加害者のその後について生徒に情報を与え、行動する前に考える機会を作っていきたい。
- ・問題行動が多様化しているため、保護者や教員も学ぶ必要がある。

## 6 閉会

以上